

2～4F トイレ入口



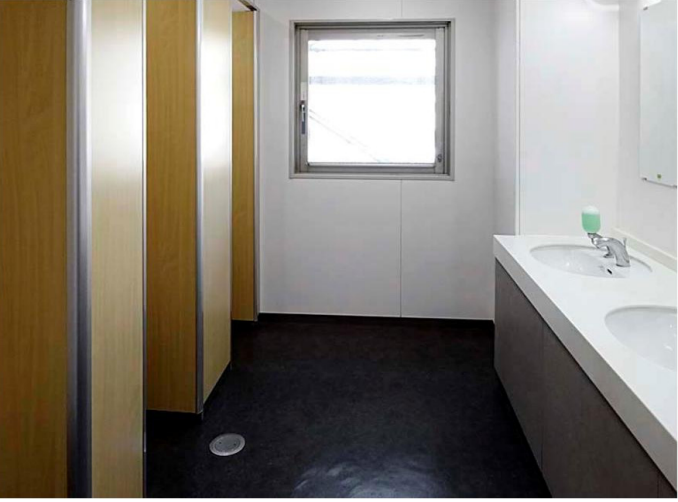
通路から見て、男女トイレの入口は、左右に分かれた配置になっているが、女性トイレの入口は、通路からは見えにくいようなレイアウトの配慮を施している。

2～4F 男性トイレ 小便器コーナー



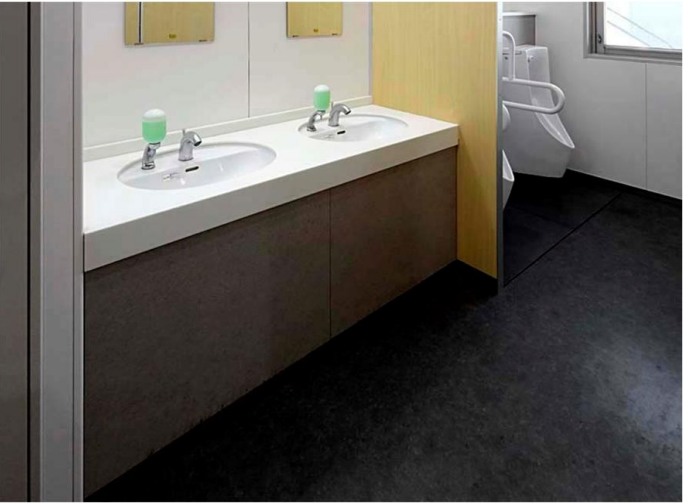
シンプルなデザインと機能性を両立した自動洗浄小便器UFS900を選定。使用後の毎回洗浄に加え定期的に排水管洗浄をするインターバル洗浄機能を搭載。尿石付着を抑制し、高度なメンテナンス性を実現。

2～4F 女性トイレ 全体



男性トイレと同様に窓に面した明るい空間。空間が広く感じられるよう、ブース材に、ナチュラルで圧迫感を感じさせないミディアムウツドのカラーを採用した。

2～4F 男性トイレ 全体



窓に面し、外光が入る明るい空間。奥行き600mmのカウンターにアンダーボウル洗面器L582と自動水栓を設置。

2～4F 男性トイレ 大便器ブース



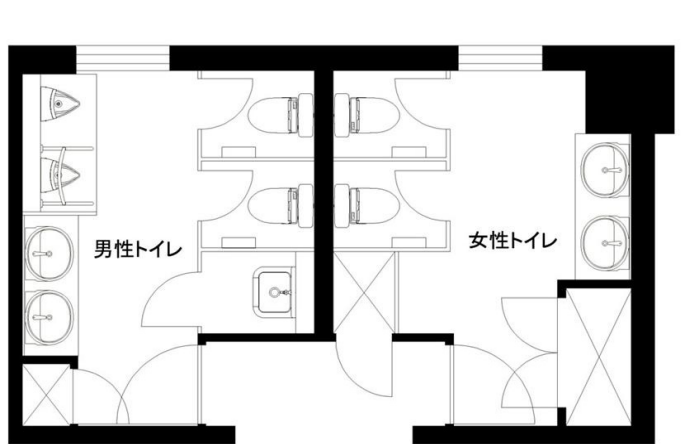
大便器の前出が700mmとコンパクトなフラッシュタンク式便器を採用。

2～4F 女性トイレ 洗面コーナー



女性トイレの洗面器まわりでは、化粧ポーチが置けるよう配慮し、カウンターを右横に長く伸ばした形状にしている。

2F～4F トイレ図面



1F 入口



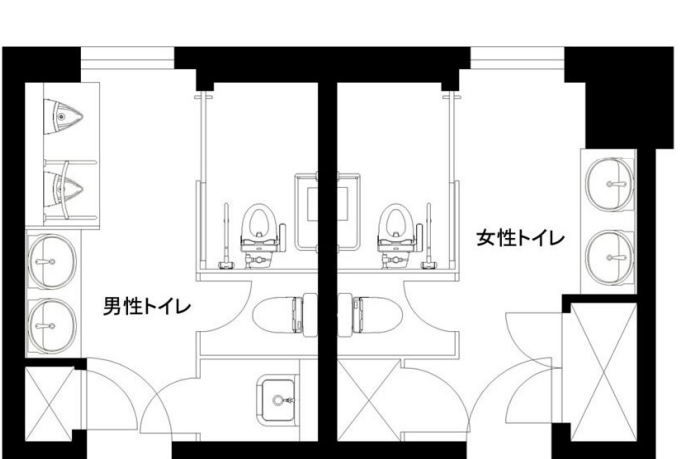
入口ドアにすりガラスの窓を設け、トイレの内外ともに、人の気配が感じられるよう配慮している。

1F 男性トイレ ひろびろブース



さまざまな方が使用する1Fトイレには、車いす利用者も利用できる広めのブースを男女トイレに1ヶ所ずつ設置。紙巻器は便器左側の壁面だけでなく、右側の跳ね上げ手すりにも設置している。

1F トイレ図面



建築概要

名 称	横浜金沢郵便局
所 在 地	神奈川県横浜市金沢区泥亀2丁目10番2
施 主	日本郵便株式会社
設 計	日本郵政株式会社一級建築事務所
施 工	川本工業株式会社
竣 工 年 月	(改修)2016年04月

水まわりの特長

<改修の経緯>
日本郵便株式会社は2014年度から5か年計画で全国郵便局の模様替工事を実施。局舎の老朽化対策およびお客様に魅力的な店舗づくりはもとより、職場環境の改善、社員モチベーション向上も目的としている。外壁補修、エレベーター改修、空調改修等とあわせて、劣化が見られるトイレについても、順次改修工事を進めており、横浜金沢郵便局では地下1階～4階の計5フロアのトイレ改修を実施した。

<トイレの特長>
全国の郵便局トイレの改修を検討するにあたり、TOTOテクニカルセンターにて、各衛生器具の実機確認や大便器ブース内の空間検証を実施。器具の選定にあたっては省エネルギー性、設置後のメンテナンスの容易さに重点を置いている。横浜金沢郵便局では、改修前のトイレではほぼすべてのブースに和式便器が設置されていたが、今回の改修で全ブースを洋式化。また、温水洗浄便座の設置を標準化し、小便器の器具交換も実施。改修がなされたトイレを使用した方からは「きれいになってうれしい」と喜びの声があがっている。